



往生山だより

◇ 届け感謝の心！6年生を送る会 ◇

先日は6年生を送る会が、1～5年生の企画・準備のもと開催されました。大好きな6年生との最後の児童会行事ですが、オープニングから大変な盛り上がりでした。5年生の進行係が6年生一人一人を紹介するアナウンスを入れると、満を持してステージ上から登場した6年生、なんとパフォーマンス付きです。1～5年生がこの日のために準備や練習を重ねていることに気づいていたのでしょうか、期待以上の堂々とした、晴れやかな登場で、会場の空気が一瞬にして和やかになりました。

実行委員長の平子楓花さんからの6年生への感謝の言葉の後、鼓笛の移杖式、そして、各学年による出し物と続きました。

- 1・2年生：かもつれっしゃ（6年生と一緒に）
- 3・4年生：入遠野ウルトラクイズ
- 5年生：6年生ものまね（滝澤先生も）

どの学年の出し物も、6年生に少しでも楽しんで欲しい、最後に思い出をつくりたいという願いが込められていました。もちろん感謝の心も忘れません。

全校生64名の子ども達一人一人の深い繋がりを改めて感じました。小規模校の良さと言ってしまうと簡単ですが、通学班や掃除の縦割り、放課後の自由遊び等々、いつも学年の隔たりなく接したり、高学年が下学年の子ども達の面倒をみたりすることが、学校生活の柱となっている入遠野小ならではの、温かい会でした。小さかった頃の記憶は忘れないものです。上級生に優しくしてもらった記憶は下級生の心に残り、また次の下級生へと受け継がれていきます。

会の最後には、6年生から1～5年生へのお礼の言葉と共に、手作りの雑巾と扇風機のカバーが贈られました。

6年生と一緒に過ごす時間も後十日足らずとなります。来週からは、全校生にとって今年度最後の授業となる、卒業式の練習が本格的に始まります。



おおやなぎリニューアル！



先週の土曜日（3/2）に兼ねてからの懸案事項の一つだった大柳の枝の剪定を行いました。

数年前より、伸びた枝が風が吹く度に落ちてきたり、光ケーブルにかかりそうだったり、大変危険な状況にあった大柳でしたが、予算がつかずここ数年手をこまねいておりました。

今回遠野支所の協力を得て、遂に実施することができました。当日は校長が立ち会いましたが、剪定を進める中で、伸びていただけでなく朽ちている枝が発見され、予定よりもやや思い切った剪定となりました。子ども達には不評ですが、命にはかえられないということをお納得してもらっています。

今後も、学校のシンボルとして、末永く大切に管理したいと思います。